

ケルティック・クリスマス 2026

Celtic Christmas

黄昏時のケルトの音楽と舞踊の宴が
あなたを異空間に誘います

Altan

アルタン

Dan Stacey
ダン・ステイシー
(ダンス)

Solas

ソーラス

MC
ピーター・バラカン

2026 **12.5** [土] 15:00開演
[14:15開場]

東海市芸術劇場 大ホール 名鉄「太田川」駅南改札口すぐ

Ticket 一般 5,000円
●未就学児入場不可
ユウナルフレンドメンバーズ 一般 4,500円
プラチナ会員割引価格 小中高生 900円

発売日

先行 9月12日[土] 9:00~
●ユウナルフレンドメンバーズプラチナ会員対象
一般 9月19日[土] 9:00~
●チケットぴあのは初日は10:00~

チケット取扱

◆芸術劇場事務局 9:00~20:00 ※休館日除く

◆芸術劇場HP 24時間受付 ※発売初日は9:00~
<https://www.tokai-arts.jp>
■会員登録(有料または無料)が必要です。



◆チケットぴあ [Pコード 320-267] <https://t.pia.jp/>
■9月19日(土) 10:00から発売開始 ■お近くのセブン-イレブン各店舗でも直接お買い求めいただけます。

関連トークイベント

ケルティック・クリスマスを100倍楽しむ
トーク&ミニライブ

2026年11月3日(火・祝) 15:00開演 多目的ホール

出演: 豊田耕三
(アイリッシュ・フルート、ティン・ホイッスル)
田代士紋 (ギター)

全席指定 | 入場無料

※未就学児入場不可
※詳しくは、チラシ裏面または
ホームページをご確認ください。

9月12日(土) 9:00より入場整理券を配布 (おひとり様2枚まで)

お問合せ

東海市芸術劇場 TEL 0562-38-7030

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田1016番地



公式エックス
@tokai_theatre



公式ホームページ
<https://www.tokai-arts.jp>

主催 | 東海市・東海市教育委員会

助成 |



Cultúr Éireann
Culture Ireland

招聘 | ブランクトン

後援 |



Ambasáid na hÉireann | An tSeapáin
Embassy of Ireland | Japan
アイルランド大使館 | 日本

【お車で来場のお客様へ】地下駐車場または太田川駅東公共駐車場をご利用ください。(施設ご利用者は入庫から2時間まで無料)

託児サービス | [1歳以上の未就学児、定員10名] 公演日の1週間前までに劇場事務局または劇場HPにてお申込みください。

生演奏に触れて好きになっていく

ぼくがまじめにアイルランドの音楽を聞き始めたのはチーフタンズの初来日、1990年ごろからです。結局来日したミュージシャンの生演奏に触れて好きになっていくプロセスですが、90年代の後半から聞き出したアルタンとの出会いからほぼ30年ほど経ちます。その間に何度かメンバーが交代していますが、フィドル、ギター、アコーディオン、ブズーキという楽器編成、そしてマレード・ニ・ウィニーの瑞々しい歌声、またしっとりとしたヴォーカル曲と活き活きとしたダンス・チューンのバランスは今も変わらず健在です。長年活動が続いているこのグループこそアイルランドのフォーク界を代表する存在となっています。

ソーラスも、かなり前から馴染みのグループです。同じアイルランド系でも、アメリカに渡った移民の子孫なので当然ニュアンスの異なった音楽になっています。ダイナミックな演奏が期待できます。ダイナミックといえば、2025年のケルティック・クリスマスにも登場したダン・ステイシーの踊りも今年また楽しみです。

今年は東海市の公演で司会を務めるので、愛知の方、一緒に盛り上がりましょう。

ピーター・バラカン(ブロードキャスター)

1951年ロンドン生まれ。1973年、ロンドン大学日本語学科卒業後、1974年に音楽出版社の著作権業務に就くため来日。現在フリーのブロードキャスターとして活動。テレビやラジオのレギュラー多数。2013年5月、日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰する第50回ギャラクシー賞の「DJパーソナリティ賞」を受賞。著書に『Taking Stock どうしても手放せない21世紀の愛聴盤』(駒草出版)、『魂(ソウル)のゆぐえ』(アルテスパブリッシング)、『わが青春のサウンドトラック』(光文社文庫)などがある。



アルタン Altan

マレード・ニ・ウィニー Mairéad Ni Mhaonaigh: フィドル、ヴォーカル

カハル・オー・カリン Cathal Ó Curráin: ブズーキ

マーク・ケリー Mark Kelly: ギター

マーティン・トゥーリッシュ Máirtín Tourish: アコーディオン

クレア・フリール Clare Friel: フィドル、ヴォーカル

フィドル音楽が盛んなアイルランド最北ドニゴールの至宝。現在のアイルランド伝統音楽を代表するトップ・バンド。フィドル音楽が盛んなアイルランド最北部ドニゴール出身。バンド名はドニゴールの湖の名に由来。フィドルを中心とした躍動感溢れるダンス曲と、透き通った美しいヴォーカル曲が魅力。デビュー以来、ドニゴールの伝統音楽をストレートに演奏し、世界を魅了。1997年に初来日以降コンスタントに来日。日本でも人気を獲得。2002年英国BBCラジオ2・フォークアワード・最優秀グループ賞受賞。リーダーのマレードが2017年アイルランド伝統音楽賞の最高峰、TG4's Gradam Ceoilの年間最優秀音楽家賞、2024年書籍、芸術、音楽を通してアイルランド文化を豊かにしてきた才能に贈られるiBAMI賞(音楽部門)を受賞。

ソーラス Solas

ジェイマス・イーガン Seamus Egan: バンジョー、ギター、フルート、ホイッスル

ウィニフレッド・ホーラン Winifred Horan: フィドル

ジョン・ウィリアムズ John Williams: アコーディオン

アラン・マリー Alan Murray: ギター、ブズーキ

スアラ・ケネディ Nuala Kennedy: ヴォーカル、フルート

強者音楽家たちによるニューヨーク生まれのスーパー・バンド。アイリッシュ・アメリカンによる、アイルランド伝統音楽の最高峰バンド。バンド名はアイルランド語で「光」。マルチ楽器奏者、作曲、プロデュースもこなす天才ジェイマス・イーガンによって、1996年にニューヨークで結成される。都会的なセンスとアメリカのルーツ・ミュージックの要素を取り入れた楽曲を、超絶アンサンブルで聴かせる。メンバー全員が輝かしい経歴を持つことから、「スーパーグループ」と評される。1998年に初来日。2005年のケルティック・クリスマスのメイン・アクトとして出演。一時期バンド活動を休止していたが、2025年2月の結成30周年記念ツアーを機会に本格的な活動を再開、現在大きな注目と熱狂的な歓迎を受けている。

ダン・ステイシー Dan Stacey

オタワヴァレー・ステップダンスの第一人者。カナダ、オタワヴァレー出身。ダンスチームのステップクルーの創立メンバーのひとり。カナダのフィドルとオタワヴァレー・ステップダンスの発展に大きく貢献してきた最重要人物。1999～2007年ケルティック・ロック・バンド「セヴン・ネイションズ」のメンバー、ソロ・ダンサーとしても活動し、アルタン、ダーヴィッシュ、チェリッシュ・ザ・レディーズの全米ツアーに同行。2002年にアルタンのダンサー、2012年に「ザ・ステップクルー」のメンバー、2025年に「ザ・ステップクルー・トップ3withダン・ステイシー」として来日した。

関連トークイベント

ケルティック・クリスマスを100倍楽しむトーク&ミニライブ

日本のケルト音楽の第一人者として、アイルランド、アメリカでも活躍する豊田耕三が、今年のケルティック・クリスマスの見どころ、アイルランドのアレコレについて、語ります。ギタリストを伴ってミニライブも。

2026年11月3日(火・祝) 15:00開演[14:30開場]

東海市芸術劇場 多目的ホール 全席指定 | 入場無料

出演: 豊田耕三

(アイリッシュ・フルート、ティン・ホイッスル)

田代士紋(ギター)

※未就学児入場不可

※整理券は、お一人様2枚まで、指定席(席は選べません)

9月12日(土)9:00より
劇場事務室にて
入場整理券を配布します。



豊田耕三(アイリッシュ・フルート、ティン・ホイッスル)

東京芸術大学卒、同大学大学院修了。同大学ケルト音楽研究部g-celtやIntercollegiate Celtic Festival等、複数の団体やフェスを立ち上げ、若手のアイリッシュ音楽ブームの火付け役となる。2016年アイルランド伝統音楽の祭典フラー・キョールのコンペティション、ティン・ホイッスル・スローエアー部門3位入賞(アジア人初)。『スーパー・マリオ・オデッセイ』、NHK『ゲゲゲの女房』、未来古代楽団他、多数の録音に参加。O'Jizo, Toyota Ceili Band等主宰。北米の大型ケルト系フェスに度々出演。アイルランド第2位のビールSmithwick'sのCMにメインキャストとして出演。アイルランド国营放送RTÉ TG4の国民の人気番組『The Late Late Show』に出演。11/3のミニライブでは、豊田のバンド、Kozo Toyota Flat Quartetのギタリスト、田代士紋がサポートで出演。[HP]<https://www.kozo-toyota.com/>